

「令和5年度 全国学力・学習状況調査」 本校の結果について

4月に6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の本校の結果についてお知らせします。

生活習慣

児童質問紙の「朝食は毎日食べているか」「家で自分で計画を立てて勉強をしているか」という項目については、全国や横浜市の値よりもよくなっています。ご家庭のご協力のおかげです。よい習慣ですので、引き続きよろしく願いいたします。

自分づくり教育(キャリア教育)

児童質問紙の「将来の夢や目標をもっていますか」という項目については、横浜市の値とはほぼ同じですが、全国の値よりは若干下回っています。始業式や朝会など、全校児童が話を聞く機会に、「自己肯定感の大切さ」を子どもたちに伝えていきます。日々の学校生活の中でも、今の自分の目標を明確にするとともに、子どもたちの努力の過程を今まで以上に認め、自信をもって取り組むことで、自己肯定感が高まるよう支援を続けていきます。

国語・算数

国語・算数とも、全国や横浜市の「平均正答率」に比べ、若干下回っています。特に「思考・判断・表現」を記述式で問うものの「正答率」は、国語・算数ともに全国と横浜市と比べ大きく下回っています。

平均正答率	本校	全国	横浜市
国語	65	67.2	67
算数	60	62.5	65

児童質問紙の「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」の値が低いことも踏まえ、子どもたち同士が学び合える授業づくりや環境づくりを工夫し、学ぶことの楽しさを実感するとともに、一人ひとりが自分の考えを表現できるようにしていきます。

その他

児童質問紙の英語に関する項目は、全国や横浜市の値よりもよくなっています。特に「英語の勉強は好きか」「将来、積極的に英語を使うような生活をしたたり、職業についたりしたいと思うか」という項目は、かなり高いです。

本校では、英語専科教員を置いていることも影響していると考えられます。授業での子どもたちの様子を実際に見ていても、興味をもって取り組み、進んで英語を使って表現しようとする姿があります。今後も、この意欲を大切にして、子どもの興味・関心に合った授業を継続します。

英語以外の教科であっても、「今、学んでいることが自分の将来につながっている」という「学ぶことの価値」を高めていけるよう、一人ひとりの学習状況に応じた指導・支援をしていきます。

